





聖書	第一列王記 2 : 1 - 12、3章
タイトル	知恵をいただいたソロモン
教案日付	2015年 6月28日

項目	イラスト	お話し
I	a 	ダビデは年をとり、やがて死ぬときが近づきました。そこでダビデは、ソロモンが王様になるよう伝えました。
	b	
	c 	こうして、ソロモンはイスラエルの王様となりました。
II	a 	ある夜、ソロモンは夢を見ました。その夢の中で神様は言われました。「あなたに何を与えようか。欲しいものがあつたら、私に願いなさい。」
	b 	さあ、ソロモンはなんと答えたと思いますか？彼は、「神様は私をイスラエルの王様にしてくださいましたが、私はまだまだ未熟なものです。神様が与えてくださったこの国を正しく治めることができるように知恵をください。そうすれば、善悪を判断し、この国の多くの人々を正しく裁くことができますから。」

項目	イラスト	お話し
II c		<p>このことは、神様のみこころにかないませんでした。そこで神様は、「あなたは自分のためのものを求めなかった。むしろ、神と人々のために善悪を判断する知恵を求めた。今、私はそれを与えよう。」と、言われました。</p>
III a		<p>ある日二人の女の人が、赤ちゃんを一人連れて、ソロモンのところにやってきました。二人の女の方は同じ家に住んでいて、どちらも赤ちゃんを生みましたが、赤ちゃんの一人が死んでしまいました。それで、赤ちゃんを失った女の人が、同じ家にいる赤ちゃんを盗んでしまいました。どちらの女の方も、これは自分の赤ちゃんだと言うのです。</p>
III b		<p>そこでソロモンは剣を持って、「それでは、この剣で赤ん坊を二つに切り、おまえたちに分けてあげよう。」と言いました。すると一人の女の方は、「やめてください！その子を殺さないでください。それなら、その子をこの女にあげます。」と言ったのですが、もう一人の女の方は、「どうぞ、そのまま殺してください。」と言いました。</p>
III c		<p>それで、ソロモンは「殺さないで、他の女にあげてくれと言った女に、この赤ん坊を返しなさい。その女が、赤ん坊の本当の母親だ。」と言いました。人々は、ソロモンの知恵にびっくりしました。</p>
結論 (適用)		<p>神さまは、わがままなお願いではなく、神さまのためのお願いを喜んで聞いてくださいます。神様のために私たちは何を願うべきでしょうか。聖書を読んで、それを教えてもらうために祈りましょう。</p>

使用方法

- 教案ガイドのイラストをプリントアウトして、裏面にお話しを記載する
- 聖書を熟読し、教案ガイドの教師ノートを参照すること